



みや なり あき よし  
**宮 成 昭 義**

## 国保税見直しを

～国保運営協議会へ諮問～

**質**

国保税の見直しを検討しているとのことだが、その内容は。

**答**

生活環境部長

国保税の賦課方式は、応能割と応益割からなり、本市の場合、4方式を採用しているが、今後は、応能割分の資産割を廃止し、3方式による賦課方式に変更予定であり、協議会で協議してまいります。

## 公演回数と運営状況は

～実のある公演に～

**質**

神楽会館がオープンして6ヶ月余り、当初の計画では公演回数年間24回とのことであったが、公演の実働および職員配置はどのようになっているのか。

**答**

企画部長

当初1年に24回の定期公演予定であったが、俵楽会との協議で俵楽会の考えを尊重し、実施可能な公演回数に見直した。

当1年1月に24回の定期公演予定であったが、俵楽会との協議で俵楽会の考えを尊重し、実施可能な公演回数に見直した。これまでの公演実績は4回で、3月までに4回の定期公演を計画しています。職員配置は当面、実績を見ながら、今後、検討してまいります。



**質**

行政評価の内部評価（職員による評価）が実施されたが、外部委員による外部評価を先行すべきでは。

**答**

市長

内部評価が全庁的に定着した段階で、外部評価もそう遠くない時期に実施してまいります。

## 外部評価を 先行すべき

～まずは内部評価を定着～

# 人口増加対策で 市の活性化策を

～定住を促す取り組みを強化～



ながのけんじ  
長野健児

**質**

高齢化率の高い本市では、老人福祉施設の誘致も含めて市の対応は。

**答** 市長

豊後大野市包括支援センター、地域総合相談支援センターを中心に、要介護者の方が住みなれた地域でいつまでも暮らせるよう、本人家族を含め介護への不安をタイムリーに解決し、本市ならではのより良いケアマネジメントにより、市内の社会資源を生かしていきたいと考えています。

**質**

若者の定住を図る上で、本格的な分譲住宅団地造成に取り組むべきと考えるが。

**答** 市長

大分市への通勤圏域として、分譲地造成などのベッドタウン化の取り組みを進めることは、過疎化、少子・高齢化の進む本市にとって非常に有益な取り組みの一つであり、今後検討をしていかなければならない施策と考えています。

しかし、現在の住宅着工件数の動向は、統計的にみても減少傾向をたどっており、今後全庁的に協議を重ねながら若者定住策などについて、抜本的に見直していく必要があると考えています。

**質**

就農者支援については色々なサポート事業があるが、後継者・新規就農者に、思い切った支援も必要と思うが市の考えは。

**答** 市長

今後は、若者が職業として選択できる魅力ある農業を実現させるために、推進作物の調査および選定を行い、特色ある産地作りに向けた市単独事業についても、検討していきたいと考えています。



豊後大野市の玄関口として宅地開発が望まれる犬飼町